

## 平成29年度第1回学校評価について

平成29年11月

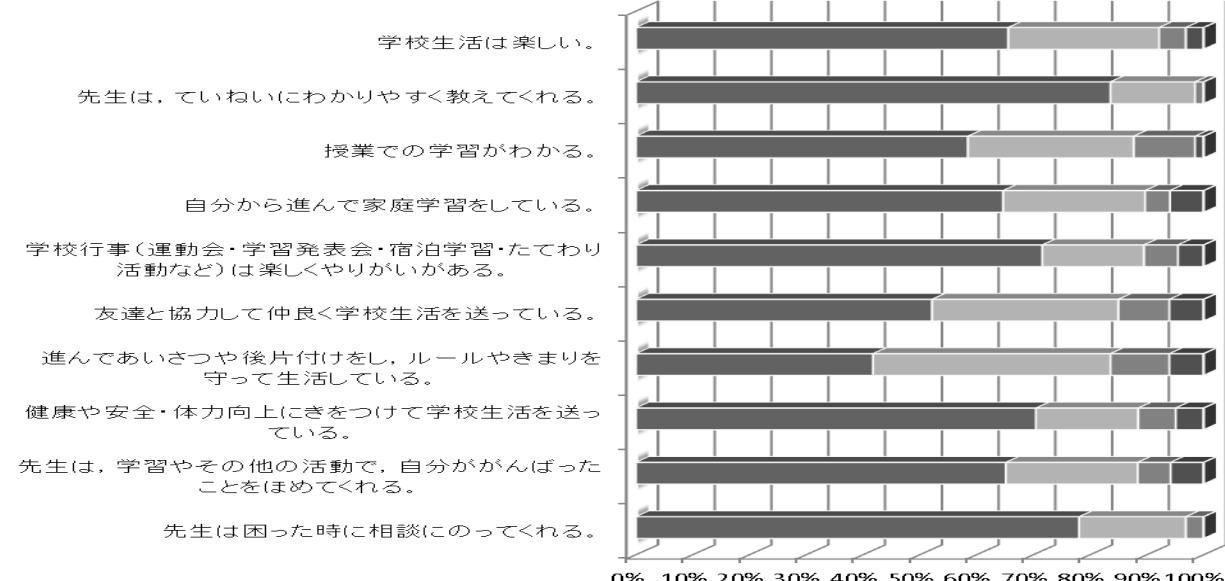
京都市立石田小学校 校長 上原みゆき

本年度前期の本校教育活動を振り返り、今後の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「平成29年度第1回学校評価アンケート」の集計が終了いたしましたので、考察を加えてお知らせいたします。

## 全体の回答の様子をグラフでご覧ください。

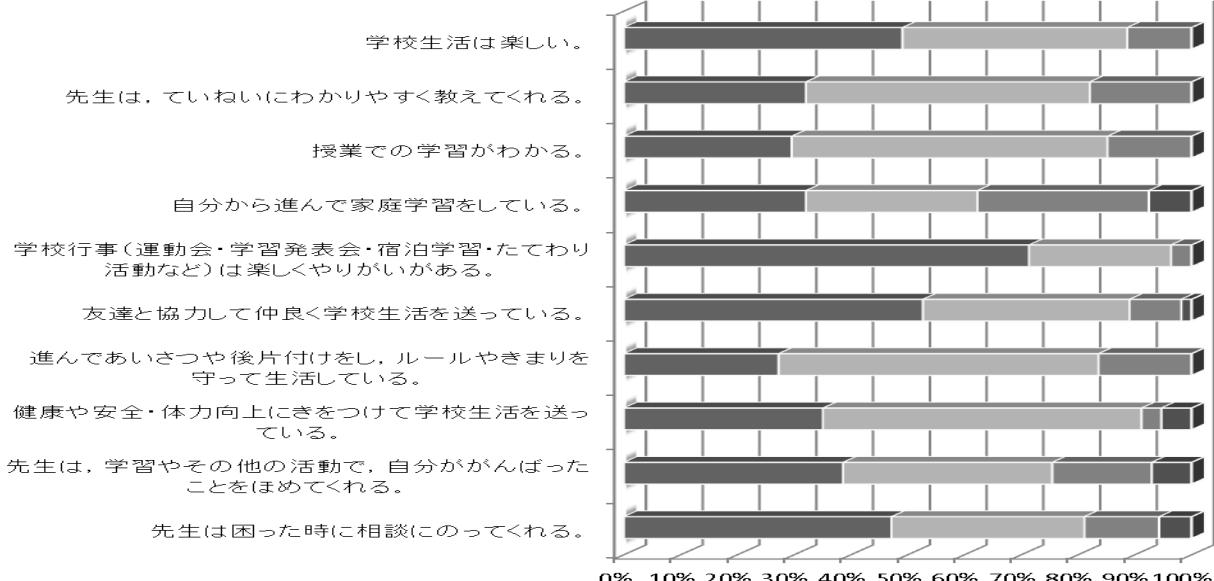
## 低学年

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



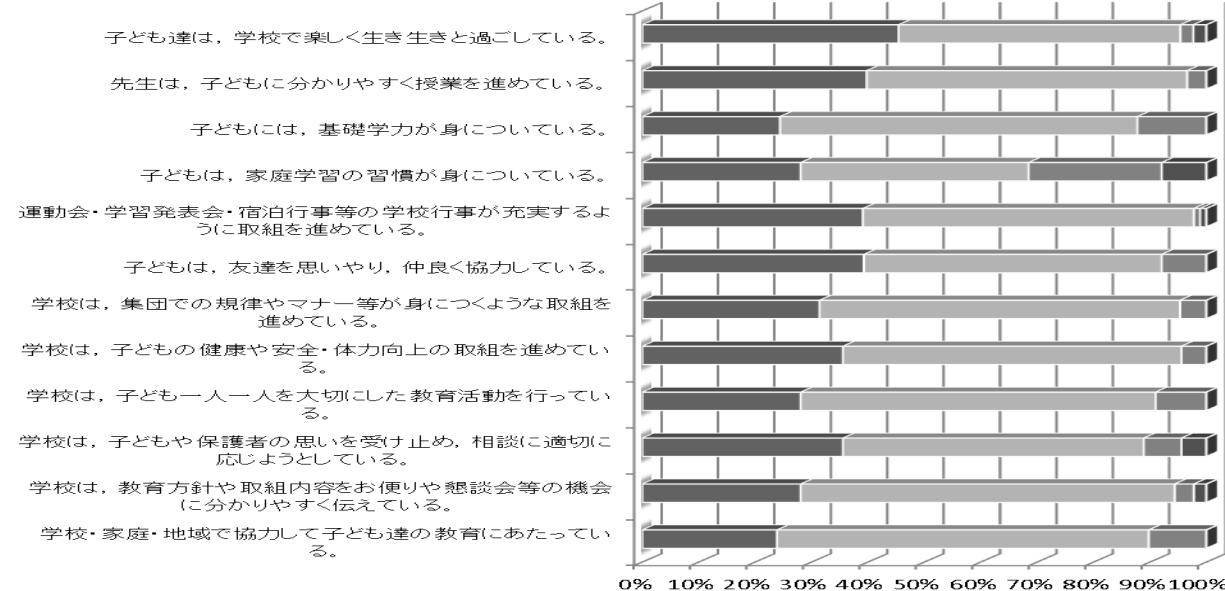
## 高学年

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



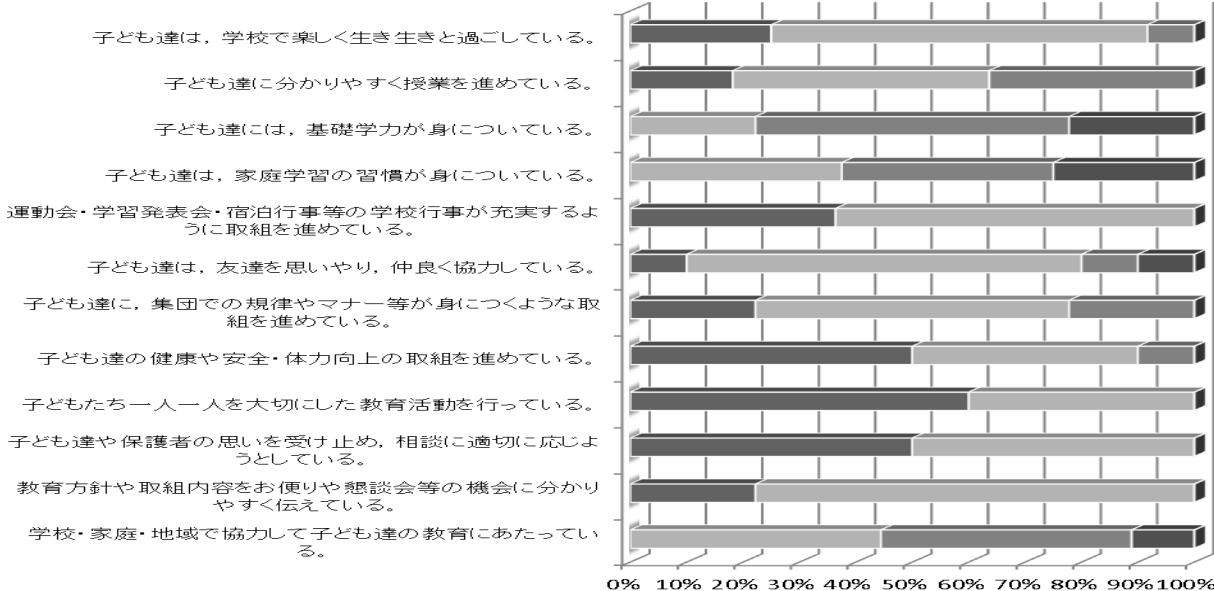
## 保護者

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



## 教職員

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

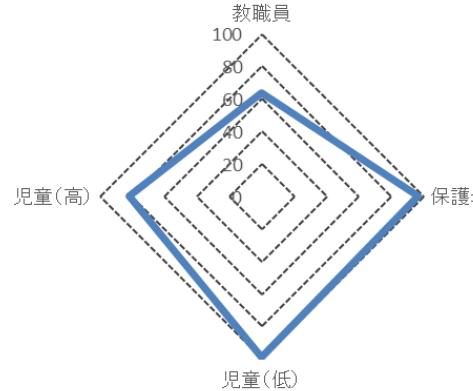


表面では回答の概要をご覧いただきました。  
裏面では集計した回答をもとに、考察を加えた項目や保護者や地域の皆様からいただいたご意見をお伝えします。

## 考 察

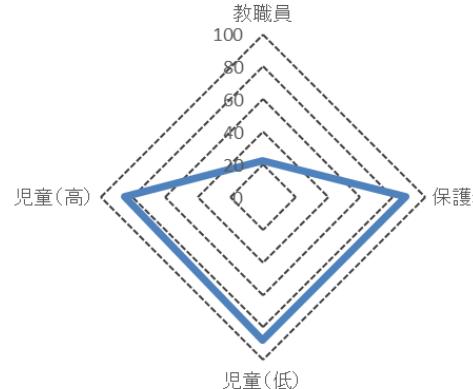
保護者、児童（低高学年別）、教職員それぞれのアンケートを項目でまとめ、「そう思う」「大体そう思う」を合わせた『思う群』の割合で比較してみました。

### わかりやすい授業である



教職員は自己研鑽の必要性も含めて低い割合となっていると考えられます。しかし、高学年で割合が低くなっている点は気にかかります。学年が上がり学習内容が難しくなるからこそ、わかりやすい授業を心がけないと感じます。

### 学習内容が身についている

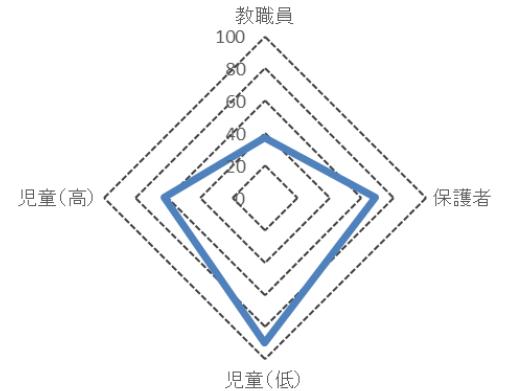


児童と保護者についてはあまり差は見られませんでしたが、教職員については、極端に低い割合となっています。

完全に取得して「わかった」と判断する教員との基準の差がアンケートの回答割

合の差に表れたと考えます。しかし、全ての対象で同じように「学習内容が身についている」となるように、授業の改善や学習意欲の向上に努めます。

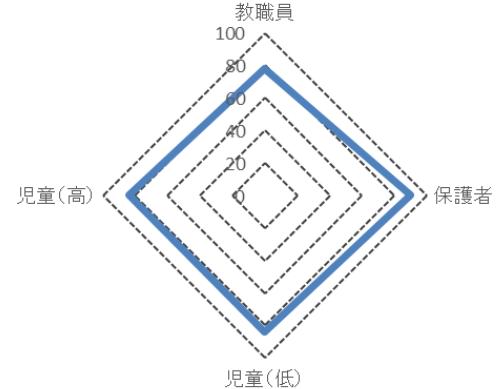
### 家庭学習の習慣がついている



保護者と高学年の児童については、同じような割合で不十分と感じているようです。低学年でできていると感じているのは学習が楽しく感じて自分から宿題等に取り組んでいるからだと考えられます。

学校としては、宿題だけでなく家庭学習で自主学習等、授業の進み具合や自分の興味関心に応じて積極的に学習してほしいという願いを含めた回答と考えます。

### 規律やマナーが身についている



前述の3つの項目に比べると差は小さいですが、児童ができていると感じているものの保護者や教職員には改善を要すると感じている割合が高くなっています。

また、低学年より高学年の割合が低くなっています。学年が上がるにつれて素直になれない子ども達の様子を垣間見ることができます。

お忙し中、学校評価アンケートに貴重なご意見をいただきありがとうございました。

学校の取組に良い評価をいただいたご意見もありましたが、改善すべき点をご指摘いただいたご意見もあります。

全てのご意見を真摯に受け止め、教職員一同精一杯努力してまいります。

## ～自由記述より～

### 保護者の声

・他の学校と違う取組をされていることは子どもから伝え聞いています。プリントやホームページでも知りたいです。

»昨年度に比べてホームページ更新の回数も増やしていますので、機会があればご覧ください。

・特に意見はありませんが、いじめだけはおこさせないようにしてください。

»今後も、教職員一同、いじめは絶対許さないという姿勢で指導していきます。

・学校外で遊んでいる姿を見ると、マナーの悪い子ども達がいる。また、道路や団地の通路でボール遊び等をする姿も見られ、地域の方も迷惑されている。遅い時刻まで外にいる子どもも見かける。

»学校でも繰り返し指導していきます。マナーやルールを守っていない子ども達を見かけられたら声をかけていただけるとうれしいです。

・子どもがしていることを大人が知らないために、傷ついている子どもがいることがいる。家庭での過ごし方や接し方を見つめ直さないといけないと感じます。

»保護者だけでなく、教職員も子ども達のいろいろなシグナルを敏感に感じ取れるように努めます。

### ～地域の方（学校運営協議会の方）のお声～

・学校に通っている子どもも孫もいませんが、協力できることがあればさせていただきます。

・子ども達と接する機会が多くなってきたことで、子ども達から声をかけられてうれしいです。

・子ども達の安全で安心のためにできることがあれば伝えてほしい。

子どもを共に育む  
京都市民憲章



京都はぐくみ憲章  
社会のあらゆる場で実践し、  
行動の輪を広げましょう！